

令和8年度中野区学力向上の方策等について

1 学力向上について

「中野区教育ビジョン(第4次)」では、「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」という教育理念を掲げ、目標Ⅱ「子どもたち一人ひとりが意欲的に学び、社会で生き抜くための確かな学力を身に付け、個性や可能性を伸ばしている」を設定している。一人ひとりの可能性を最大限に生かす教育を推進する中で子どもたちが基礎的・基本的な「知識及び技能」を習得し、これらを活用する学習をとおして「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力、人間性等」を身に付けるとともに、自分らしく学び続ける姿を目指している。

2 令和8年度「中野区学力に関わる調査」から見る実態について

(1) 対象学年及び教科等

※調査範囲は前年度の学習範囲

学年	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
国語	○	○	○	○	○	○	○	○
算数・数学	○	○	○	○	○	○	○	○
英語						○	○	○
質問調査	○	○	○	○	○	○	○	○

(2) 実施方法 ペーパーテスト形式による調査

※網掛けは令和8年度より実施

(3) 実施時期 小学校 令和8年4月13日(月)～17日(金)の中で1日

中学校 令和8年4月17日(金)

(4) 出題形式

教科の調査は、選択式、短答式、記述式とする。質問調査は選択式とする。

(5) 調査結果

教科の調査については平均正答率を全国平均との比較を行い、質問調査については、肯定的回答の割合で全国との比較を行うことにより、区内の児童・生徒の学習状況を把握する。

各教科の学年、観点ごとの平均正答率と全国平均値(%)

※網掛けは全国平均値を下回っている項目

国語		知識・技能			思考・判断・表現		
		区	全国	全国との差	区	全国	全国との差
小学校	2年	93.6	93.2	+0.4	81	78.4	+2.6
	3年	84.5	83.8	+0.7	82.8	80.4	+2.4
	4年	84.5	84.4	+0.1	64.1	60.3	+3.8
	5年	78.1	72.7	+5.4	63.4	59.4	+4.0
	6年	66	63.4	+2.6	66.4	63.1	+3.3
中学校	1年	68.5	68	+0.5	61.1	58.9	+2.2
	2年	69.1	69	+0.1	67.8	65.2	+2.6
	3年	67.8	65.8	+2.0	63.8	62.3	+1.5

算数 数学		知識・技能			思考・判断・表現		
		区	全国	全国との差	区	全国	全国との差
小学校	2年	86.8	87.4	-0.6	71.3	71.2	+0.1
	3年	85.6	86	-0.4	70.1	65.2	+4.9
	4年	80	76.8	+3.2	56.1	50.2	+5.9
	5年	73.8	68.5	+5.3	55.4	46.4	+9.0
	6年	73.3	68.8	+4.5	50.8	44.6	+6.2
中学校	1年	65.6	64.9	+0.7	30.5	29.4	+1.1
	2年	64.2	59.7	+4.5	48.4	45.3	+3.1
	3年	57.3	56.2	+1.1	48.7	46.3	+2.4

英語		知識・技能			思考・判断・表現		
		区	全国	全国との差	区	全国	全国との差
中学校	1年	94.3	94.4	-0.1	81.3	78.6	+2.7
	2年	74.5	70.2	+4.3	47.2	42	+5.2
	3年	71.6	67.6	+4.0	53	47.5	+5.5

【国語】

○「知識・技能」

- ・すべての学年で全国平均を上回った。
- ・小学5年生では、「知識・技能」が全国平均を 5.4 ポイント上回った。

○「思考・判断・表現」

- ・すべての学年で全国平均を上回った。
- ・小学5年生では、「思考・判断・表現」が 4.0 ポイント上回った。

【算数】

○「知識・技能」

- ・小学校2・3年生で、全国平均を若干下回った。
- ・小学校5年生は全国平均を 5.3 ポイント、小学校6年生は 4.5 ポイント、中学校2年生は 4.5 ポイント上回った。

○「思考・判断・表現」

- ・すべての学年で全国平均を上回った。
- ・小学校3年生は全国平均を 4.9 ポイント、小学校4年生は 5.9 ポイント、小学校5年生は 9.0 ポイント、小学校6年生は 6.2 ポイント上回った。

【英語】

○「知識・技能」

- ・中学校1年生は、全国平均並みであった。
- ・中学校2年生は全国平均を 4.3 ポイント、中学校3年生は 4.0 ポイント上回った。

○「思考・判断・表現」

- ・すべての学年で全国平均を上回った。
- ・中学校2年生は全国平均を 5.2 ポイント、中学校3年生は 5.5 ポイント上回った。

【全体】

○36項目中33項目で全国平均値を上回った。

○特に「思考・判断・表現」については、すべての教科、学年で全国平均値を上回った。

○小学校では5・6年生、中学校では2・3年生が、どの教科においても全国平均を大きく上回った。

【参考】令和7年度の各教科の学年、観点ごとの平均正答率と全国平均値（％）

※網掛けは全国平均値を下回っている項目

国語					
		知識・技能		思考・判断・表現	
		区	全国	区	全国
小学校	2年	94.3	92.6	77.1	74.4
	3年	90.8	90.3	79.0	75.5
	4年	84.0	82.9	72.4	68.3
	5年	73.1	68.4	67.6	63.0
	6年	74.1	71.7	72.4	69.9
中学校	1年	70.4	69.6	62.5	60.9
	2年	85.1	85.3	67.4	64.4
	3年	69.0	68.4	65.0	63.9

算数・数学					
		知識・技能		思考・判断・表現	
		区	全国	区	全国
小学校	2年	86.5	86.3	70.1	70.0
	3年	84.3	84.4	66.4	63.0
	4年	83.6	79.8	48.3	41.9
	5年	78.8	75.6	57.7	52.8
	6年	69.7	65.6	58.5	55.6
中学校	1年	68.6	68.7	43.7	44.2
	2年	67.3	62.9	45.1	41.3
	3年	60.2	58.0	48.3	47.4

		英語			
		知識・技能		思考・判断・表現	
		区	全国	区	全国
中学校	2年	71.0	66.2	56.4	50.7
	3年	66.4	62.7	61.4	55.6

(6)「質問調査」の結果について

学年ごとの肯定的回答の割合と全国平均値(%)

※網掛けは全国平均値を下回っている項目

①本や新聞を読んでいる。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	68.5	76.5	65.7	60.1	60.8	57.5	50.4	53.5
全国	69.4	72.4	60.1	55.9	55.7	51.9	46.2	45.2
②自分で学習の計画を立てている。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			56.2	58.4	57.7	56.3	57.1	56.1
全国			54.4	54.4	56.2	53.3	52.8	54.0
③その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			52.0	51.3	50.3	45.7	39.5	42.1
全国			53.0	49.4	49.6	45.8	38.2	40.3
④わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	83.6	75.8	70.5	68.8	69.1	69.0	64.0	69.7
全国	84.3	73.7	71.8	68.0	68.6	68.9	62.4	66.9
⑤授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			61.5	67.3	68.4	62.5	57.1	51.8
全国			63.2	64.9	65.1	60.8	52.8	51.7
⑥学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	86.7	87.4	77.4	73.9	75.6	83.5	79.9	80.6
全国	86.5	85.6	74.4	72.0	72.2	80.7	76.2	76.5
⑦私は、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			69.0	74.1	76.4	75.2	73.7	75.8
全国			68.0	70.6	73.5	71.3	72.2	73.9

○①の質問については、小学校2年生において、全国平均を若干下回った。しかし、他の学年においては全国平均を大きく上回っており、区が進めている読書の推進について、令和7年度に引き続き、一定の成果が表れていることが分かる。

○②から⑥の質問項目は学びに向かう力に關わる質問である。昨年度までは、全国平均と比較して課題が見られるものが多かった。しかし、令和8年度は、肯定的回答が全国平均を上回る学年が増えている。これは、各校において学校教育向上事業を通じた授業改善や子どもを主体とした授業づくりなどの、区や学校の学力向上の取組の成果ではないかと推察される。学びに向かう力を引き続き涵養するために、児童・生徒一人ひとりが課題を見出し、見通しをもって解決して振り返るなどの問題解決的な学習を推進するとともに、児童・生徒が学習対象に対して興味関心をもてるような授業改善を続けていく。

○⑦は、主体的に自分たちの学校生活について見直そうとする態度についての質問であるが、すべての学年で全国平均を上回った。令和6年度から、「子どもを主体とした学校教育」を区立学校の重点とし、児童・生徒が学校経営に参画する「子どもの意見を反映させた教育活動」などの取組の成果であると考えられる。今後もさらに発展、継続していく。

▲小学校2年生においては2つの項目で、小学校4年生においては3つの項目で全国平均を下回った。特に小学校2年生においては、⑥の項目も全国平均とほぼ同程度の値である。就学前教育から小学校へのより円滑な接続を図るために架け橋期のカリキュラムを充実させたり、低学年における授業改善を行ったりする必要がある。

【参考】令和7年度の学年ごとの肯定的回答の割合と全国平均値（％）

※網掛けは全国平均値を下回っている項目

①本や新聞を読んでいる。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	75.9	80.1	67.4	65.5	60.9	60.9	54.6	54.5
全国	70.3	76.7	59.9	58.3	55.7	50.9	45.9	43.0
②自分で学習の計画を立てている。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			56.7	56.7	60.2	50.2	48.7	53.2
全国			54.9	55.3	56.1	53.3	50.3	52.3
③その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			52.9	52.1	51.1	42.7	37.7	40.6
全国			55.3	52.6	51.6	45.9	38.6	38.8
④わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	85.9	76.3	73.6	68.1	68.9	64.2	61.4	69.1
全国	83.4	77.6	73.1	70.2	69.3	68.6	62.0	67.1
⑤授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			67.9	65.4	66.6	54.7	47.8	50.6
全国			64.8	65.5	65.5	61.6	51.3	50.6
⑥学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。								
	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区	87.8	87.1	77.5	73.2	71.4	79.5	75.9	79.4
全国	84.5	87.1	78.1	74.2	73.7	81.5	74.8	75.9
⑦私は、自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。								

	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
中野区			72.3	74.0	75.4	70.2	71.5	76.2
全国			71.4	73.0	75.6	74.1	73.1	74.5

3 令和8年度の学力向上の取組

(1) 各校における授業改善

学力調査（区・都・全国）や、児童・生徒への質問調査などの結果を分析し、各校において、校内研究を充実させ、創意工夫ある授業改善に向けた取組を行っている。

(2) 学校教育向上事業

全区立学校・園を指定校として、各校・園の特色ある研究を支援している。各校・園は年間1回以上「公開研究会」を設定する。中学校区の学校・園の教員を中心に公開研究会に参加し、研究内容について共有、協議し、区立学校・園同士で学び合い、研鑽を深めている。

(3) 学校教育向上事業 研究推進訪問

年間8校（園）程度、教育委員会が各校・園の学校教育向上事業による研究を支援するため、学校・園に訪問し、授業観察及び校内研究について指導・助言を行っている。令和8年度は以下の8校（園）で実施をする。

令和8年度学校教育向上事業 研究推進訪問一覧

実施日	学校・園名	実施日	学校・園名
6月15日	中野本郷小学校	10月19日	北原小学校
7月6日	明和中学校	11月9日	緑野小学校
9月14日	桃花小学校	11月16日	南台小学校
9月28日	中野第一学校	12月7日	第五中学校

(4) 中野区教育マイスター制度

年間4名の教員に対して、大学教授等を講師として、中野区教育マイスター候補者研修を行っている。中野区教育マイスターに認定された教員は、区内の教員の授業力向上及び授業改善のため、年間2回の授業公開を行っている。

1～3年次までの若手教員研修においては、中野区教育マイスターを講師として授業力向上研修を実施し、具体的な実践について学ぶ機会を設定している。

中野区教育マイスター認定教員一覧

令和6年度認定		令和7年度認定	
学校	教科等	学校	教科等
北原小学校	外国語	緑野小学校	理科
平和の森小学校	算数	みなみの小学校	体育
緑野小学校	社会	中野東中学校	国語
中野中学校	保健体育	明和中学校	社会

(5) 学力向上検討委員会

学力向上検討委員会（委嘱委員会）では、学識経験者を招聘し、管理職や教員が授業力向上及び児童・生徒の確かな学力定着のための方策について検討している。

令和7年度は、各種学力調査の結果や、各校・園での子どもたちの様子から課題を分析した。分析、協議した結果、「学びに向かう力」を子どもたちがさらに身に付けることができるような指導を推進するために、資料「中野区型自律的学習の提案」を作成した。令和8年度から区で実施している教員研修や校内研修等で本資料の活用が進められている。

また、令和8年度の学力向上検討委員会では、小・中学校で「中野区型自律的学習の提案」を活用した授業実践を行い、より具体的な指導資料を作成する予定である。

（参考）令和8年度学力向上検討委員会 検討内容案

回	開催日	概要
1	7月28日	本委員会の目的や「中野区型自律的学習の提案」の確認と今年度の活動予定等について検討
2	11月中旬	「中野区型自律的学習の提案」を活用した小学校における授業実践
3	12月中旬	「中野区型自律的学習の提案」を活用した中学校における授業実践
4	1月上旬	今年度の取組の振り返りと来年度に向けて

（6）ICTを用いた学習指導

協働学習ツールやAI学習ドリルを導入し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に向けたICTを活用した学びを推進している。また、児童・生徒が自身の習熟度に合わせた学習に取り組めるようAI学習ドリルの活用を進めている。

全国学力・学習状況調査の質問調査の結果（％）

※網掛けは都平均値を下回っている項目

① PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した児童生徒の割合

	国	都	中野区
小学6年生	68.8	75.1	81.4
中学3年生	78.2	83.4	88.6

② ICT機器で文章を作成することができると思っている児童生徒の割合

	国	都	中野区
小学6年生	79.1	81.0	82.7
中学3年生	84.8	86.9	85.8

③ インターネットで情報を収集することができると思っている児童生徒の割合

	国	都	中野区
小学6年生	84.9	85.3	85.3
中学3年生	90.9	91.2	90.7

④ ICT機器で情報を整理することができると思っている児童生徒の割合

	国	都	中野区
小学6年生	69.5	72.3	77.6
中学3年生	69.4	72.2	75.2

⑤ ICT機器でプレゼンテーションを作成することができると思っている児童生徒の割合

	国	都	中野区
小学6年生	74.6	78.5	81.3
中学3年生	80.0	84.3	82.8

- 国や都と比較して小・中学校ともにＩＣＴを週３日以上活用している割合が高い。
- 小学校においては、すべての項目で国や都を上回った。
- 項目③については、小中学生ともに区・都・全国とも同程度である。インターネットを使った情報収集は、全国的に児童生徒の自己評価が高い。
- ▲項目⑤において、中学校３年生が都の平均を下回った。無回答が都より１．８ポイント高かったことも原因の一つとして考えられるが、引き続き情報活用能力（文書作成、情報収集、情報整理、資料作成など）を育成するためにＩＣＴ機器を活用する場면을授業や学校生活の中で増やしていく。

（７）学力調査の実施と振り返り学習

令和８年度も区の学力調査を行った（結果については「２ 令和８年度『中野区学力に関する調査』から見る実態について」参照）。独自の学力調査を実施している趣旨は以下のとおりである。

- ①各学校において、自校の児童・生徒一人ひとりの学習状況や学年の傾向を踏まえて、教育課程や指導の改善・充実を図る。
- ②調査の結果を基に児童・生徒が自身の学習上の課題を認識し、その後の学習に役立てる。
- ③各教科の目標や内容に照らした学習の実施状況を把握し、区内小・中学校における教育課程の実施状況についての課題を明らかにして教育委員会の施策及び事業に生かす。

また、令和６年度から区立小・中学校で導入した共通のＡＩ学習ドリルと連携を図り、個別の振り返り学習に取り組めるようにしている。各校においては、児童・生徒がＡＩ学習ドリルで調査結果を基とした個別学習に取り組み、一人ひとりの学習到達度に応じた学び直しを行っている。

（８）少人数習熟度別指導の実施、任期付短時間勤務教員の配置

全区立小・中学校において算数・数学の習熟度別指導を、区立中学校７校において英語の少人数指導を行っている。個に応じたきめ細やかな指導を推進し、児童・生徒一人ひとりに基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるとともに、個性や可能性の伸長を図っている。

また、区独自に、任期付短時間勤務教員を採用し、チームティーチングや少人数指導の学習指導補助、放課後学習教室及び夏季休業中の補充学習等を行っている。令和８年度は３３名が採用されている。２０学級以上の大規模校には２名配置している。

（９）魅力ある学校づくり～子どもを主体とした学校～

令和８年度の教育課程第３表「３ 魅力ある教育活動」における「魅力ある学校づくり～子どもを主体とした学校～」において、各校が児童・生徒や地域の実態に応じて、様々な取組を行っている。

（１０）生成ＡＩの教員への導入

令和７年度の１２月より、教員の校務における生成ＡＩの活用が始まった。令和８年度は研究主任を対象とした研修で、「生成ＡＩを活用した授業改善について」をテーマに講師による講義を行い、各校での授業における生成ＡＩの活用を生かしている。

(11) 電子書籍アプリの導入

令和8年度より、電子書籍アプリ（Yomokka!）を全小学校に導入した。学校図書館の充実や電子書籍アプリの活用を通して、児童・生徒が日常的に読書に親しむ環境づくりを進め、豊かな言語能力や学習基盤の形成を図っている。

(12) 全中学校へのA L T全日配置

令和8年度より全中学校へA L Tを全日配置し、生徒が日常的にA L Tに関わる環境づくりを整え、英語でコミュニケーションをとる機会を創出している。

4 今後の重点取組

(1) 「魅力ある学校づくり～子どもを主体とした学校教育～」の充実

児童・生徒が主体的に自分たちの学校生活を見直す取組等を引き続き推進する。生活面の充実を図ることによって、一人ひとりの児童・生徒の達成感や成就感、自己肯定感及び他者とのつながりが高まる。このことが学習への意欲向上につながり、結果として学力向上に資すると考えられる。

(2) 探究的な学びの推進

児童・生徒に3つの資質・能力をバランスよく育成する。そのために、資料「中野区型自律的学習の提案」を活用した授業実践を小・中学校で推進し、「探究的な学び」を各校で展開できるようにする。また、「指導の個別化」と「学習の個性化」の視点からの授業改善を推進していく。そして、引き続き、全校・園を学校教育向上事業研究指定校とし、教育委員会として各校・園の創意工夫ある研究を支援していく。

(3) 個に応じた指導の充実

小学校低学年での学習のつまずきが、学年が上がってからの学習意欲の低下や学校生活の不適応につながることもある。低学年から個に応じた指導の充実を図る必要がある。

そのために、小学校1～3年生に配置しているエデュケーション・アシスタントについて、学習支援面での充実を図っていくと共に、放課後学習等の補充的な学習体制を継続していく。また、学力調査とA I学習ドリルを連携させた振り返り学習を推進し、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っていく。

(4) 授業における生成A IやI C Tの効果的な活用の推進

令和7年度の12月より、教員の校務における生成A Iの活用が始まった。今後は、中学生に導入予定である。協働学習ツールやA I学習ドリル、生成A Iを効果的に活用した授業改善を推進し、児童・生徒の資質・能力の育成につなげていく。そのために、教員研修で効果的な活用を情報交換したり、I C Tポータルサイトに実践例を掲載したりしていく。

(5) 英語教育の充実

令和8年度より全中学校へのA L T全日配置を開始したことで、生徒が英語でコミュニケーションを図る機会が大幅に増加した。また、日常的にA L Tと関わる環境が整ったことで、

生徒の英語で話すことへの心理的なハードルが下がり、英語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢が見られるようになっている。

今後も、A L Tの活用やイングリッシュキャンプ、英語検定受験支援等の取組を継続するとともに、中学校においては生成A Iを活用した英語学習など新たな学習環境を整備し、児童・生徒が英語を用いて主体的にコミュニケーションを図る力を育成していく。

(6) 家庭学習の充実

学力向上には、学校における学習と家庭学習の両輪が重要である。保護者との連携を強化しながら、児童・生徒一人ひとりが学習習慣を身に付け、自ら学び続けることができるよう支援していく。

「自分を育てる力」を教室から

～中野区型自律的学習の提案～

中野区の子どもの現状

○区学力調査では知識・技能や思考、判断、表現の正答率が高い

△「学びに向かう力」に関する意識調査では「どのように学ぶか」「自律的に学んでいるか」についての質問項目で肯定的回答が少ない

子どもの姿 みんなで語っていませんか？

- ・先生の指示を待つ
- ・「とりあえず写しておこう」
- ・「何文字書けばいいですか？」
- ・自分の考えがもてていない
- ・「先生、次は何をすればいいですか？」
- ・調べ学習では資料を丸写し
- ・誰かが発言して進めてくれるだろう。

その原因は…

「授業でこんな姿を見たい」を考えてみましょう！

始めてみましょう！

「自分を育てる力」を身に付けさせる「中野区型自律的学習」

「出会う」 子どもたちが知的好奇心をもって学習対象に向かえるように工夫します。

「見通す」 子どもたちが学習の見通しをもち、課題を設定できるようにします。

「実行・調整」 子どもたちが学習方法を選択したり学習方略を工夫したりできるようにします。

「振り返って次に」 子どもたちが学びを振り返り、次の学習につなげたり、生活に生かしたりできるようにします。

出会う

見通す

「自分を育てる力」

振り返って
次に

実行
調整



令和7年度 中野区教育委員会
学力向上検討委員会

「自分を育てる力」を教室から

～中野区型自律的学習の提案～

💡 サポートのポイント
(考えてみましょう！)

💡 サポートのポイント①

- 身近な問題とのつながりを意識させる
- 「知的好奇心」を高める子どもたちの実態にあった資料等の提示を！

💡 サポートのポイント①

- 見通しをもって課題設定する方法を気付かせる（経験させる）
- 子どもがこれまでの学習・活動など経験をつなげるような環境設定を！



何だろう？
面白そう！
不思議だな。

出会う

(教材との出会い)
子どもたちが知的好奇心をもって学習対象に向かいます。

子どもの気付き

見通す

(予見)

児童生徒が学習の見通しをもち、課題を設定します。

こうなるんじゃないかな？
こうしてみよう！
がんばればできそう！
〇〇と関係していそうだ！

「自分を育てる力」

振り返って次に

(省察)

学びを振り返り、次の学習につなげたり、生活に生かしたりします。

実行・調整

(遂行・コントロール)

学習方法を選択したり学習方略を工夫したりします。

思ったとおりだ！
上手いかないな。もう一回！
他の人はどうしているかな？

💡 サポートのポイント③

- 学びの成果・変容を自覚できるような声掛けを！
- 子どもの振り返りの姿を共有できるように
- 振り返りを基にした学習計画の見直しができるように

💡 サポートのポイント②

- 子ども同士をつなげる
- 子どもの工夫を取り上げる
- 自己選択の機会
- 仲間と考え（思い・気持ち）を交流し、更新できるようにする
- 繰り返し粘り強く学習に取り組めるような環境設定を！

💡 サポートのポイント④

「子どもの学びを支える環境づくり」

- 安心して学べる学級経営・教室づくり
- 子どもと学習の出会いの工夫
- 繰り返しを保障する時間設定（「もっとやってみたい」を大切に）
- 子どもの「困り」や「気付き」、「発想」を想定した環境づくり
- 教師は子どもの成果ではなくプロセスを評価する

